

公益社団法人

福岡県作業療法協会会報

第128号 平成29年7月15日発行

(事務局)

〒802-0044 北九州市小倉北区熊本1丁目9-1 ONE OFF第2ビル101号

TEL 093-952-7587 発行責任者 志井田 太一 編集責任者 許山 勝弘

ホームページアドレス：<http://www.fuku-ot.org/>



特集：心理教育の紹介

目次

巻頭言：災害支援ボランティアについて 副代表理事 竹中 祐二（麻生リハビリテーション大学校）	・・・1
会長行動	・・・2
特集：心理教育の紹介 飯塚記念病院 西園 晋明	・・・3
理事会議事録	・・・6
定期社員総会議事録	・・・12
各部・委員会からのお知らせ	・・・13
Occupation： 医療法人社団 照和会 ぼると 荒島 俊二	・・・18
リレーエッセイ： 医療法人ふらて会 西野病院 中野翔子	・・・19
会員動向調査	・・・20



巻頭言：災害支援ボランティアについて

副代表理事 竹中 祐二（麻生リハビリテーション大学校）

昨年の熊本地震では、十分な災害支援の準備が無いままにJRAT（大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会）の人員派遣の呼びかけに県協会員および関連施設の皆さまから多くの支援をいただきました。経過をまとめますと、次のようになります。

平成28年4月14日発災、翌15日にPT、OT、STの各協会より支援依頼の打診があり、各県士会で対応しました。福岡JRATを通じて派遣登録し、並行して東京および熊本本部のマッチングで人員派遣を開始しました。JRATの活動は、4月15日の活動開始から、7月3日の鳥取JRATを最後に全て熊本JRATに引き継がれました。熊本地震の対応で、JRAT活動には34都道府県が参加しました。内訳はDr.：354名、PT：832名、OT：373名、ST：122名です。なお、福岡県のOT実績としては福岡JRATを通して、チームと個人で26名のご協力をいただきました。遅くなりましたが、その節は本当にありがとうございました。

さて、私は三年前の巻頭言でJRATについてご紹介するとともに本協会として有事の際の体制作りと福岡JRATの組織化および県との連携強化への想いを述べました。過日、その一つである「災害時における福祉避難所等への福祉等専門人材の派遣に係る協定」を福岡県と県理学療法士協会など8団体との間で締結することができました。本協定は県内で災害が発生し、市町村の福祉避難所等で専門人材が必要となる場合、各団体から人材を派遣するものです。福岡県のHPでも紹介されていますのでご覧ください。これにより、福岡県の災害行政の枠組みに入ることができました。今後は福岡県の防災計画にもJRATや作業療法士といった文言が含まれるよう、社会的認知の向上が必要です。地域JRATでは発災後48時間以内にチームを編成し被災地へ派遣することができることを目指しています。また、受援側になった際の体制作りも求められています。

今年度の当協会の目標は災害支援体制作りです。8月以降、各ブロックで行われる研修会や教育部主催研修会の時間の一部をいただいて「災害支援ボランティア」についての説明会を行う予定です。大規模災害に関わる当協会の災害支援の在り方と災害ボランティア登録の手順についてご説明いたします。日本作業療法士協会の災害支援ボランティア登録者、JRAT災害支援経験者の方はもちろん、出来るだけ多くの県協会員にボランティア登録をお願いしたいと思います。ご協力よろしく願いいたします。



会長行動 (平成29年4月～6月)

- | | | |
|----|-----|---|
| 4. | 3. | 北九州市介護認定審査会総会／北九州市障害支援区分認定審査会総会 出席
場所：ウェルとばた |
| 4. | 6 | 福岡県災害時における福祉避難所等への福祉等専門人材の派遣に係る協定書. 締結式 出席
場所：福岡県庁 |
| 4. | 6. | 日本作業療法士協会制度対策部「平成29年度生活行為工夫情報モデル事業」事前打合せ
場所：福祉用具プラザ北九州 |
| 4. | 21. | 福岡県作業療法協会 監事監査 出席
場所：福岡県作業療法協会事務所 |
| 4. | 22. | 日本リハビリテーション発祥地記念館・九州リハビリテーション大学校記念館
開館記念式典 出席
場所：九州栄養福祉大学 |
| 4. | 23. | 一般社団法人 日本作業療法士協会
平成29年度第1回「地域包括ケアシステム推進委員会」 出席
場所：TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター |
| 4. | 24. | 平成29年度公益社団法人福岡県作業療法協会 第1回理事会 出席
場所：良想夢リハビリスポーツガーデン |
| 4. | 26. | 福岡県作業療法協会「地域包括ケアシステム推進会議」出席
場所：福岡医健専門学校 |
| 4. | 28. | 一般社団法人福祉用具専門相談員協会
「資質向上研修会」ファシリテーター出務依頼の受託
場所：北九州市立総合療育センター |
| 5. | 9. | 新規事業の説明と依頼 福岡県高齢者地域包括ケア推進課 出席
場所：麻生リハビリテーション大学校 |
| 5. | 13. | 日本作業療法士協会制度対策部「平成29年度生活行為工夫情報モデル事業」
第1回福岡県作業療法協会 打合せ会議
場所：TKP博多駅筑紫ロビジネスセンター |
| 5. | 14. | 北九州ブロック「地域ケア会議助言者養成研修会」 出席
場所：北九州リハビリテーション学院 |
| 5. | 23. | 北九州市すこやか住宅推進協議会 平成29年度第1回理事会 出席
場所：小倉リーセントホテル |
| 5. | 27. | 一般社団法人日本作業療法士会 定時社員総会 出席
平成29年度第1回九州作業療法士会長会議 出席
場所：日経ビル |
| 5. | 29. | 北九州市障害者支援計画あり方懇話会 第二部会 出席
場所：北九州市庁舎 |
| 5. | 31. | 北九州市すこやか住宅推進協議会 平成29年度通常総会・交流会 出席
場所：小倉リーセントホテル |
| 6. | 11. | 平成29年度 公益社団法人福岡県作業療法協会 第1回定期社員総会 出席
平成29年度 公益社団法人福岡県作業療法協会 第2回理事会 出席
場所：福岡県作業療法協会 事務所 |
| 6. | 13. | 公益社団法人 福岡県作業療法協会 三役会 出席
場所：福岡県作業療法協会 事務所 |
| 6. | 19. | 福岡県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会 世話人会 出席
場所：麻生リハビリテーション大学校 |
| 6. | 23. | 一般社団法人 日本作業療法士協会
平成29年度第2回「地域包括ケアシステム推進委員会」 出席
場所：日本作業療法士協会 事務所 |

【はじめに】

みなさんは、心理教育をご存知でしょうか？

心理教育は、「精神障害やエイズなど受容しにくい問題を持つ人たちに、正しい知識や情報を心理面への十分な配慮をしながら伝え、病気や障害の結果もたらされる諸問題・諸困難に対する対処方法を修得してもらうことによって、主体的な療養生活を営めるよう援助する技法」¹⁾と定義されています。統合失調症、うつ病など様々な疾患に対して使われておりその効果を示す報告も多くなされています²⁾。

今回は、心理教育について当院の精神科救急病棟で行っている心理教育プログラムを題材に紹介をします。「すでに職場で実践しています」という方もあると思いますし、「精神科ではありません」という方もあると思いますが、疾病教育や予防教室も広義にとらえると心理教育であると思います。ご自身の立場に置き換えながら読んでいただければ幸いです。

【心理教育の実際】

心理教育を始めるうえで、考えないといけないことは「どのような人を対象に、どのような方法で、どのような情報を伝えるか」ということだと思います。対象者、方法、内容の検討が必要です。これには、職場のバックグラウンドが大きく関与します。

当院の精神科救急病棟には、年間約300人、さまざまな年齢（12～101歳）、疾患の方が入院されています。時期によって若年層が増加したり、高齢者が増加したりし、疾患割合も安定しません。加えて、平均在院日数が60日となっており短期間での情報提供が求められる現状があります。

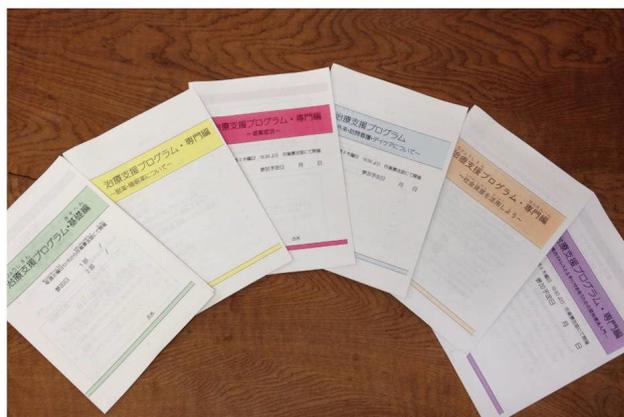
そこで、「必要な人に、必要なだけ、必要な情報を提供する」をキャッチフレーズに、工夫している点を3点述べます。1つ目は、短期間で情報を提供できる枠組み作り、2つ目は、対象者の選定およびフィードバックの形式、3つ目は各セッション時のプレミーティング、アフターミーティングの充実です。

1つ目の短期間で情報提供できる枠組み作りでは、基礎編2セッション、専門編5セッションの構成にしており、最短で4週間で終了するようプランニングしています。どこから受講し始めても良く、繰り返し受講が必要と思われる方は、入院期間中何度でも受講できます。（表-1）

2つ目の対象者の導入およびフィードバックの形式ですが、対象者の導入は病棟看護師が行いま

表 - 1

		内容	講師
基礎編	2回1クール （Nsによるリストアップ） 毎週水曜	病気の原因、治療について 入院から退院までの回復段階	OTR
		ストレスと健康、治療の関係 悪化時のサイン	
専門編	（Nsによるリストアップ） 該当事者のみ	第1木曜 服薬・睡眠薬について	薬剤師
		第2木曜 退薬症状について	医師
		第3木曜 外来・訪問看護、デイケアについて	外来、DCスタッフ
		第3金曜 社会資源を活用しよう	PSW
		第4木曜 日常のストレスと上手に付き合うための認知療法入門	臨床心理士



す。当院では、病棟看護師は担当制となっています。病棟看護師は、対象者の過去の入院歴や今回の入院に至った原因、退院後予想される生活などから、心理教育プログラム導入の目的、目標、どのセッションに参加してもらうかを検討します。そして、対象者と話し合い同意を得ると導入となります。フィードバックも病棟看護師が担っています。セッションが終了すると理解度の確認などを個別に行ってもらっています。

3つ目の各セッション時のプレミーティング、アフターミーティングの充実ですが、当日の参加者の導入者情報提供書をもとにセッション開始前にプレミーティングを行います。導入者情報提供書は、担当看護師が事前に記入しておくもので、心理教育プログラムへの導入目的や対象者のプロフィールなどが記載されています。各対象者の導入目的や必要としている情報の洗い出しを行い、セッション内でどの情報をより詳しく伝えるかや予想される理解度に合わせてどのくらい言葉を平易なものにするかなどを講師と打ち合わせしま

す。このプレミーティングには、20分間程度の時間をかけています。

セッション終了時には、参加者にアンケート記入を依頼しています。アフターミーティングでは、アンケート回答内容も参考にしながら参加者のセッション中の様子などを振り返り、担当看護師への申し送るために導入者情報提供書の裏面の欄に記入を行います。（図-1）

このように、職場のバックグラウンドに則した対象者の選定や方法、内容を検討し、実施することが必要であると考えます。

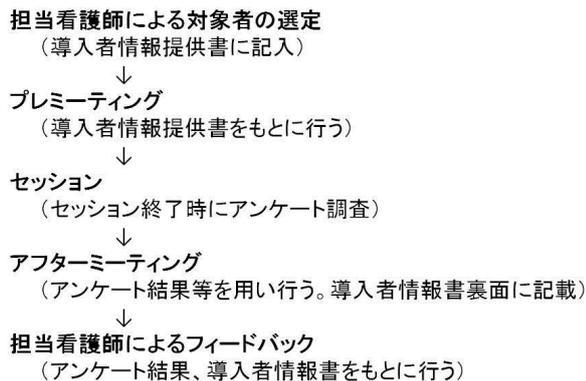


図 - 1

【他職種連携と作業療法士の役割】

心理教育を運営する上で、他職種連携は欠かせません。作業療法士だけでは「必要な人に、必要なだけ、必要な情報を提供する」ことは不可能です。日ごろから他職種と良好な関係づくりをしておくことが必要だと思います。

すでに、対象者の導入やフィードバック時の看護師の役割は紹介しましたが、当院では、医師、薬剤師、精神保健福祉士、臨床心理士、外来・訪問スタッフ、デイケアスタッフが心理教育プログラムの講師としてかかわっています。専門的な情報は、専門職から提供を受けた方が、対象者の安心感、信頼度は向上すると考えます。

作業療法士は、場の提供とプログラム全体のマネジメント、および基礎編の講師の役割を担っています。場の提供とは、毎週決まった場所、時間で心理教育プログラムが行えるように、場所、時間の枠組みを確保することを指します。プログラム全体のマネジメントは、参加者の確認や各専門職のスケジュール管理、各セッションでの司会進行役、テキスト作り、アンケート結果の集計などになります。基礎編の講師役では、「治療の流れ」や「病気の原因について」、「ストレスと病気の関係について」などの情報提供をしています（プレミーティングで、当日参加者に合わせ、テキストの中のどこを重点的に伝えるか、どのような例え話や具体的な話をすると理解しやすいかな

どを検討します）。情報提供をする上で大切にしていることは、「いかに腑に落ちる話を提供できるか」です。それによって対象者の理解度が大きく変わってくる印象を受けます。自分に置き換えて話を聞いてもらえることが重要だと考えます。

（図-2）

看護師が中心となって心理教育を行っている施設も多いと聞きます。作業療法士が必ずしも中心となって心理教育を行う必要はないと思います。それよりも、他職種と連携したり役割分担をしたりしながら、何らかの形でよいので心理教育に携わり、対象者に利益をもたらすかわりを行うことが重要だと考えます。

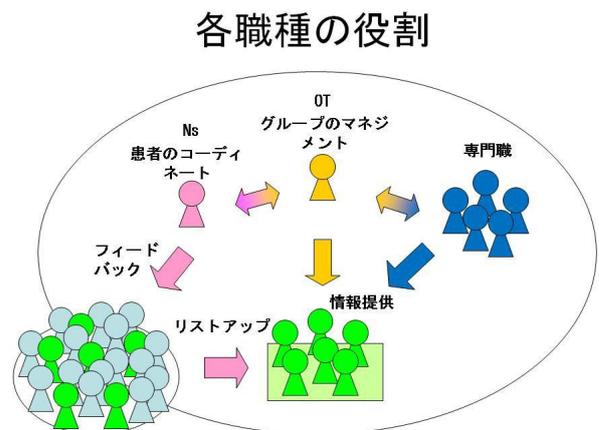


図 - 2

【心理教育と家族】

心理教育をしていると対象者に影響を及ぼす家族や身近な人への心理教育的なアプローチの必要性を感じさせられます。精神分野においては高EEの研究³⁾などがよく知られていますが、家族の影響は少なくありません。

当院で心理教育を受けた対象者に、服薬の自己中断に関してアンケートを取ったところ興味深い結果が出たため紹介します（第24回日本精神科救急学会学術総会発表分）。

対象者は、平成25年11月～平成28年3月に当院の精神科救急病棟に入院し心理教育プログラム「退薬症状」のセッション（以下、退薬セッション）に参加した患者（n=102）です。アンケートの内容は、退薬セッションの満足度、理解度、服薬自己中断経験の有無とその理由、退薬セッションと一緒に聞いてもらいたい人、退薬セッションを受けての感想からなっており、得られたデータを単純集計・記述統計を行いました。さらに、服薬自己中断の有無により「自己中断経験あり群」（以下、「中断+群」）と「やめようと思ったがやめなかった群」（以下、「中断±群」）、「自己中断経験なし群」（以下、「中断-群」）に分け、「中断+群」と「中断±群」の服薬自己中断理由の比較を χ^2 検定を用いて行いました。

集計・統計の結果、男性：44名、女性：58名。
平均年齢：46.1±13.7歳となりました。

疾患割合は、F1：1名 F2：45名 F3：42名
F4：8名 F6：3名 F7：1名 F8：2名。

初回入院，再入院の人数はそれぞれ44名と58名。初回入院のうちこれまで全く受診歴がなく入院となった人（drug naïve）は11名でした。

薬の自己中断経験の有無は、「中断+群」が55名、「中断±群」が19名、「中断-群」が28名でした。「中断+群」と「中断±群」のやめようと思った理由は、『薬に頼らず自分で治したいと思ったから』（37名），『症状が改善し薬は飲まなくてもよいと思ったから』（30名），『副作用が気になったから』（24名），『家族や周囲の人に「薬は飲まないほうが良い」と言われたから』（20名）が上位を占めました。一緒に話を聞いてもらいたい人では、『家族』（46名）が一番多い結果となりました。「中断+群」と「中断±群」のやめようと思った理由を χ^2 検定したところ，『家族や周囲の人に「薬は飲まないほうが良い」と言われたから』で10パーセント水準の有意傾向が認められました。

このアンケート調査の結果では，服薬の自己中断に至る理由として『薬に頼らず自分で治したい』『症状が改善すれば薬は飲まなくてもよい』『副作用が気になる』が上位3つを占め，4番目に多かった『家族や周囲の人に「薬は飲まないほうがよい」と言われた』の項目で「中断+群」と「中断±群」に有意傾向のある差が見られました。また，患者の多くは，一緒に話を聞いてもらいたい人に「家族」を挙げました。（図-3）

これらから，服薬自己中断の要因には患者本人の服薬アドヒアランスの低さが背景にあり，服薬自己中断「しよう」という意思から「した」という行動へ移行する間には様々な要因があるなかで，患者が援助を受けたいと思っている家族や周囲の人の不適切な助言が，実際の服薬自己中断の引き金になっている可能性を示唆する結果になったと考えられます。そのため，心理教育的援助を

行うことで，家族や周囲の人が服薬に関する知識を持ち適切な助言をすることができれば，服薬自己中断を抑止できる可能性が高くなるのではないかと考えられます。

このように，家族や身近な人への心理教育も重要な要素であると考えます。当院では，積極的に家族にプログラムを一緒に受講していただけるよう働きかけています。また，エビデンスに基づいて心理教育を行っていくためにもデータの蓄積や分析は必要であると思います。

【心理教育運営上の課題】

運営上の課題は多々ありますが，一番の課題は「心理教育プログラムをいかに継続していくか」であると思います。継続を難しくしている要因には，職員の異動，プログラムのマンネリ化などがあります。

当院では，心理教育は平成9年から行われていますが，現在に至るまで何度も見直しを行い，対象者の選定方法やプログラムに関わるスタッフ，方法，内容などの変更をしています。

現状の分析を行い，どのようにすればよりよい心理教育を提供することができるかを考え，変更することのできる組織の土壌づくりと心理教育に対して熱意のあるスタッフを多く養成していく働きかけが重要だと考えます。

【まとめ】

今回，当院の心理教育プログラムを題材に心理教育の紹介をしました。対象者に対し情報を提供し，行動変容を促したり，生活のしづらさを改善したりすることは，精神科だけにとどまらずどの分野においても活用できる方略・考え方であると思います。

所変われば，対象者，集団のサイズ，方法，内容は変わり，多岐にわたると思います。職場のバックグラウンドに合わせ，さまざまな工夫をしながら心理教育を1つの技法として使っていただければ幸いです。また，今回の特集がその役に立てばと願っています。

最後まで，読んでいただきありがとうございます。

〈参考・引用文献〉

- 1) 浦田重治郎ら：心理教育を中心とした心理社会的援助プログラムガイドライン。2004
- 2) 松田光信：統合失調症患者に対する心理教育を用いた介入研究の文献レビュー。神戸常盤大学紀要1(1)。2009
- 3) 伊藤順一郎ら：家族の感情表出（EE）と分裂病患者の再発との関連—日本における追試研究の結果。精神医学36（10）1023-1032。1994

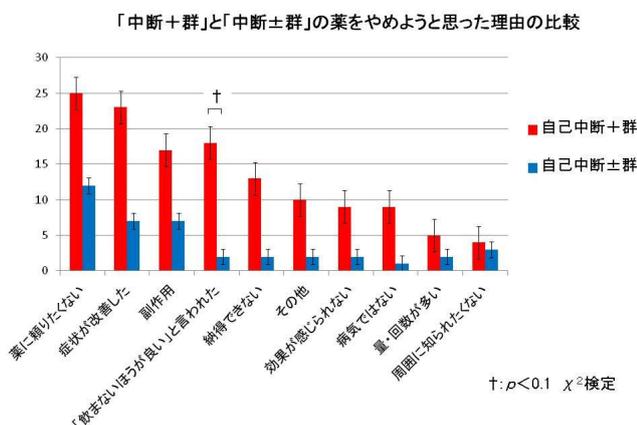


図 - 3

平成29年度 第1回 公益社団法人福岡県作業療法協会 理事会議事録

I. 開催日 : 平成29年4月24日(月) 19時00分～22時30分

II. 場所 : 良創夢 リハビリスポーツガーデン

III. 理事総数 : 20名

IV. 出席理事数 : 19名

V. 出席者氏名 : 志井田太一, 竹中祐二, 濱本孝弘, 中川昇, 深町晃次, 青山克実, 佐藤稔,
手島智康, 許山勝弘, 平岡敏幸, 永田敬生, 大田登志樹, 玉野和男, 轟木健市,
福田裕樹, 有久勝彦, 黒木勝仁, 田中真純, 沖雄二(以上, 理事).
吉田秀樹, 原口健三(以上, 監事).
鐘ヶ江秀俊, 田邊慎一, 藤崎実知子(以上, 事務局)
欠席者氏名 : 深井伸吾, (以上, 理事) (敬称略)

VI. 審議事項

1. 第22回福岡県作業療法学会におけるホームページ業者の選定について

(有久学術部担当理事)

→承認

学会のホームページ開設における管理会社についてラピッドジャパン及びAACの2社に見積もり依頼した。審議の結果ラピットジャパンに依頼する。

2. 「健康21世紀福岡県大会」の福岡県作業療法協会参加について(永田事業部担当理事)

→継続検討

参加の是非と企画内容について提案。審議の結果、参加を視野に入れ準備を行い企画内容については詳細を継続検討することとなった。

3. 平成29年度第1回福岡県作業療法協会ブロック分野別研修会の参加資格について

(轟木筑後ブロック担当理事)

→継続検討

毎年度第1回のブロック研修会の開催時期は、県協会に入会していない養成校卒業直後の作業療法士も多いため、毎年度第1回のブロック研修会については、非会員(1年目)の参加を認めることについて提案。審議の結果、継続検討することとなった。

4. 福岡ブロック研修会の講師承認について(黒木福岡ブロック担当理事)

→承認

以下の講師依頼について報告。

「フィジカルアセスメントについて」(仮テーマ)

講師: 土倉万代氏(薬院内科クリニック 看護師)

5. 筑豊ブロック研修会の講師承認について(平岡筑豊ブロック担当理事)

→承認

以下の講師依頼について報告。

地域ケア会議に資する人材育成研修会

講師: 梶井剛士氏(株式会社らそうむ)

福田寛徳氏(飯塚記念病院)

手嶋雄太氏(筑山会 松岡病院)

山本めぐみ氏(訪問看護ステーションあおぞら)

香月隆宏氏(健康リハビリテーション内田病院)

6. 筑後ブロック研修会の講師承認について(轟木筑後ブロック担当理事)

→承認

以下の講師依頼について報告。

運動器リハビリテーションにおける評価・治療

講 師：坂本智洋氏（姫野病院）
地域ケア会議について
講 師：小山大作氏（神代病院）
精神障害領域における訪問サービス
講 師：村尾眞治氏（訪問看護ステーションReaf くるめ）

7. 北九州ブロック研修会の講師承認について（玉野北九州ブロック担当理事） →承認
以下の講師依頼について報告。
地域ケア会議助言者養成研修会
講 師：宮永敬市氏（北九州市保健福祉局）
後藤真司氏（ほうらい山荘）
津川文信氏（上野病院）
都合幹太氏（あやめの里）
8. 北九州ブロック研修会の講師承認について（玉野北九州ブロック担当理事） →承認
認知症の作業療法～QOL概念と治療的・予防的介入方略
講 師：久野真矢氏（九州医療スポーツ専門学校）
9. 平成28年度決算・事業報告の承認について（中川事務局長） →承認
平成28年度の決算・事業について報告。吉田秀樹監事，原口健三監事より平成29年4月21日に監事監査を行い問題なく運営されている旨の報告。
10. 平成29年度定期社員総会の開催について（中川事務局長） →承認
以下のように提案。
日時：平成29年6月11日（日）10：00～11：00
場所：福岡県作業療法協会事務所
内容：平成28年度決算・事業報告
監査報告
11. 正会員の入会について（中川事務局長） →承認
平成29年1月24日から平成29年4月14日までの間に26名の入会があった。
12. SIG登録の新規申請について（青山教育部担当理事） →承認
以下のSIG登録の新規申請について報告。
申請団体：誠愛リハビリテーション研修会

VII. 協議事項

13. 第1回九州作業療法学会（平成31年6月予定）の準備について
（志井田代表理事） →承認
九州理学療法士・作業療法士合同学会が平成30年度の沖縄学会で終了することに伴い、平成31年度に第1回九州作業療法学会を福岡県で開催する旨が九州作業療法士長会で決定したことについて報告。また、平成31年度は9月に第53回日本作業療法学会が福岡国際会議場を中心とした会場で開催される予定があるため、開催時期と開催場所については北九州市で6月に開催することの提案。
14. 第22回福岡県作業療法学会趣意書の承認について（有久学術部担当理事） →継続検討
趣意書について提案。
15. 第22回福岡県作業療法学会の準備委員の承認について（有久学術部担当理事） →承認
第22回福岡県作業療法学会の準備委員について提案。

VIII. 報告事項（特記報告のみ記載。他、資料参照とする）

16. 代表理事行動について（志井田代表理事）

平成29年2月～平成29年3月の代表理事行動について報告。

17. 県協会宛て依頼案件について（志井田代表理事）

平成29年2月1日から平成29年3月31日までの間に県協会宛てに27件の依頼（研修会案内依頼4件、講師・委員派遣依頼20件、共催・講演依頼2件、その他依頼1件）があったとの報告。

18. 平成29年度MTDLP推進委員会への参加について（濱本業務執行理事）

東京で6月10日・11日に開催される委員会に福岡県からは県協会MTDLP推進委員長の生駒英樹氏が参加することの報告。

19. 47委員会出席報告について（濱本業務執行理事）

福田保険委員会担当理事より、47委員会出席報告があったとの報告。

20. 福岡県安全運転医療連絡協議会について（竹中業務執行理事）

福岡県安全運転医療連絡協議会設立の経緯などについて報告。県協会からは深町晃次福利部担当理事が幹事として参加する。

21. 「災害時における福祉避難所等への福祉等専門人材の派遣に係る協定」について

（竹中業務執行理事）

協定の内容について報告。

22. 教育部主催研修会報告について（青山教育部担当理事）

主催研修会について開催報告。

23. 第21回福岡県作業療法学会の開催報告について（有久学術部担当理事）

平成29年2月18日・19日に開催された第21回福岡県作業療法学会について延べ499名の参加があったとの報告。

IX. 次回開催日

平成29年度 第2回理事会

日時： 平成29年6月11日（日）11：00～

場所： 福岡県作業療法協会事務所

平成29年度 第2回 公益社団法人福岡県作業療法協会 理事会議事録

- I. 開催日 : 平成29年6月11日(日) 11時10分～12時50分
- II. 場所 : 公益社団法人 福岡県作業療法協会 事務所
- III. 理事総数 : 20名
- IV. 出席理事数 : 14名
- V. 出席者氏名 : 志井田太一, 竹中祐二, 中川昇, 深町晃次,
青山克実, 深井伸吾, 手島智康, 許山勝弘,
永田敬生, 大田登志樹, 玉野和男, 轟木健市,
福田裕樹, 田中真純, (以上, 理事).
吉田秀樹, 原口健三 (以上, 監事).
鐘ヶ江秀俊, 田邊慎一, 藤崎実知子 (以上, 事務局)
欠席者氏名 : 濱本孝弘, 有久勝彦, 黒木勝仁, 沖雄二, 平岡敏幸, 佐藤稔 (以上, 理事)
(敬称略)
- VI. 審議事項
1. 福岡県介護予防市町村支援事業への協力について (志井田代表理事) →承認
福岡県介護予防市町村支援事業への協力について提案.
 2. 一般社団法人 日本作業療法士協会 制度対策部 福祉用具委員会
「2017年度 生活行為工夫情報モデル事業」への協力について (志井田代表理事) →承認
「2017年度 生活行為工夫情報モデル事業」への協力について提案.
 3. 災害支援ボランティア研修について (竹中業務執行理事) →承認
災害支援ボランティア研修について提案.
 4. JIMTEF災害医療研修ベーシックコース受講者の推薦について (竹中業務執行理事) →承認
JIMTEF災害医療研修ベーシックコース受講者の推薦について提案.
 5. 特別支援教育 調査のためのアンケート配布依頼 (深井保健福祉部担当理事) →承認
特別支援教育 調査のためのアンケート 配布依頼について提案.
 6. 弔慰金制度に関するアンケート調査の実施について (深町福利部担当理事) →継続検討
弔慰金制度に関するアンケート調査の実施について提案. 審議の結果, 慶弔金制度の詳細も含め継続検討していくこととなった.
 7. ジャーナル「作業療法・福岡」第16号における執筆依頼について (志井田代表理事) →承認
有久学術部担当理事よりジャーナル「作業療法・福岡」第16号における執筆依頼について提案があったとの報告.
巻頭言 松尾雅宣氏(第21回福岡県作業療法学会 学会長)
特集 大川弥生氏(産業総合技術研究所ロボットイノベーション研究センター)
テーマ「生活不活発病を考える」

8. 教育部発達分野研修会の講師承認について（青山教育部担当理事） →承認
以下の講師依頼について報告。
松尾茂樹氏(大阪府作業療法士会副会長)
9. 教育部精神分野研修会の講師承認について（青山教育部担当理事） →承認
以下の講師依頼について報告。
大野宏明氏(川崎医療福祉大学)
10. 教育部地域分野研修会の講師承認について（青山教育部担当理事） →承認
以下の講師依頼について報告。
吉川ひろみ氏(県立広島大学)
松本多正氏((株)楽々サービス)
吉田誠治氏(株夢企画)
11. 教育部身体障害分野研修会の講師承認について（青山教育部担当理事） →承認
以下の講師依頼について報告。
許山勝弘氏(福岡リハビリテーション病院)
山田麻和氏(長崎北病院)
高島千敬氏(広島都市学園大学)
田崎和幸氏(愛野記念病院)
12. 筑後ブロック研修会の講師承認について（轟木筑後ブロック担当理事） →承認
以下の講師依頼について報告。
川島豊輝氏(株パーソン・サポート絆 代表取締役)
13. 筑後ブロック研修会の講師承認について（轟木筑後ブロック担当理事） →承認
以下の講師依頼について報告。
西岡心大氏(長崎リハビリテーション病院)
14. 福岡東ブロック研修会の講師承認について（大田福岡東ブロック担当理事） →承認
以下の講師依頼について報告。
宮本香織氏(らそうむ)
木之瀬隆氏(シーティング研究会代表取締役)
田中拓樹氏(福岡青洲会病院 理学療法士)
15. 筑豊ブロック研修会の講師承認について（志井田代表理事） →承認
平岡筑豊ブロック担当理事より以下の講師依頼について報告。
平岡敏幸氏(飯塚記念病院)
16. 北九州ブロック研修会の講師承認について（玉野北九州ブロック担当理事） →承認
以下の講師依頼について報告。
宮口英樹氏(広島大学大学院)
17. 北九州ブロック研修会の講師承認について（玉野北九州ブロック担当理事） →承認
以下の講師依頼について報告。
大関潤平氏(NPO法人あすも特注旅行班 理学療法士)
18. 正会員の入会について（中川事務局長） →承認
平成29年4月17日から平成29年6月2日までの間に59名の入会があった。
19. 会員の福利厚生について（深町福利部担当理事） →承認
平成29年の会員福利厚生事業について提案。

Ⅶ. 報告事項（特記報告のみ記載。他，資料参照とする）

20. 代表理事行動について（志井田代表理事）

平成29年4月～平成29年5月の代表理事行動について報告。

21. 県協会宛て依頼案件について（志井田代表理事）

平成29年4月1日から平成29年5月31日までの間に県協会宛てに15件の依頼（研修会案内依頼1件，講師・委員派遣依頼9件，共催・講演依頼4件，その他依頼1件）があったとの報告。

22. 第22回福岡県作業療法学会の開催日変更について（中川事務局長）

有久学術部担当理事からの報告にて，第22回福岡県作業療法学会の開催日について平成30年2月17日（土）18日（日）に変更になったとの報告。

23. 県協会サイト運営報告について（許山広報部担当理事）

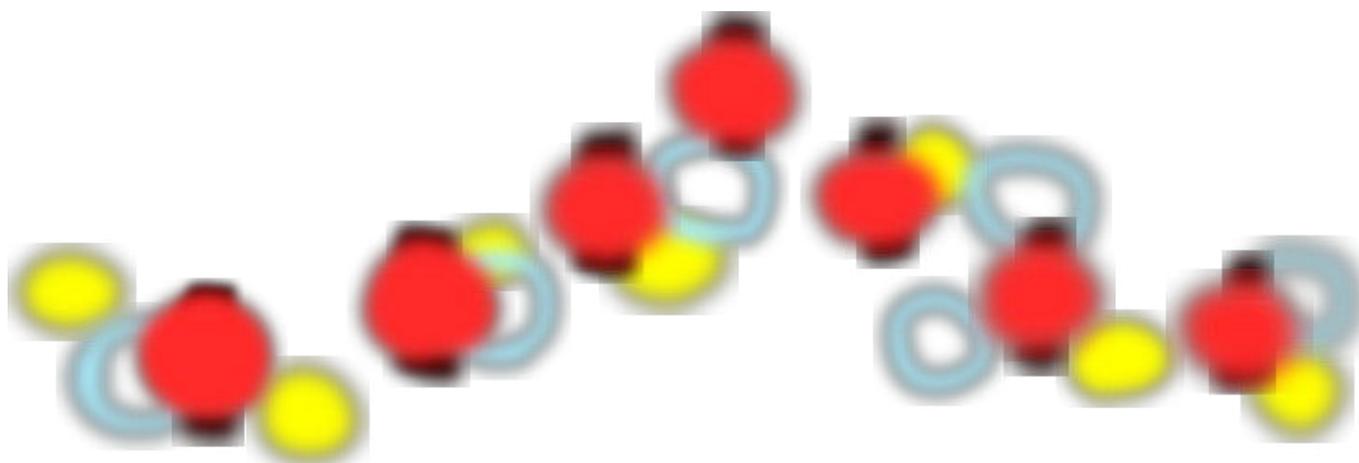
県協会サイトの利用状況について報告。

Ⅷ. 次回開催日

平成29年度 第3回理事会

日時： 平成29年8月7日（月）19：00～

場所： 福岡医健専門学校



平成29年度 公益社団法人福岡県作業療法協会 定期社員総会議事録

1. 開催日：平成29年6月11日（日）
2. 時間：10時00分～10時50分
3. 場所：公益社団法人 福岡県作業療法協会 事務所
4. 正会員数：2,874名（平成29年5月19日現在）
5. 代議員総数：41名
6. 本総会出席代議員数：本人出席 22名 書面評決者 14名
7. 出席者氏名：〈代議員本人出席〉
青山克実，竹中祐二，中尾達也，中島純二，永田敬生，許山勝弘，日高健二，町田真一朗，志井田太一，田中聡，玉野和男，中川昇，深町晃次，松永裕也，矢野浩二，澤田剛，轟木健市，原野裕司，深井信吾，福田裕樹，大田登志樹，手島智康

〈代議員書面評決者〉
黒木勝仁，苗村俊助，久野良浩，熊添潤一，佐藤稔，座小田孝安，中津留正剛，古賀大亮，有久勝彦，中原徳郎，濱本孝弘，近重諒，松尾雅宜，平岡敏幸

〈監事〉
原口健三，吉田秀樹

〈事務局〉
鐘ヶ江秀俊，田邊慎一，藤崎実知子
8. 議長，書記選出：
中川昇氏が開会を宣言し，定款第23条に基づき出席代議員の中から議長に志井田太一氏が選出された。ついで議長の指名により議事録作成に関わる職務を行う者として中川昇氏，鐘ヶ江秀俊氏，藤崎実知子氏が選出された。
9. 議事の経過の要領及びその結果
議長は，議事運営委員長の大田登志樹氏より報告をうけ，上記のとおり定足数に足りる代議員の出席があったので本総会は成立した旨を報告した。ついで議長は定款第27条の規定により，議事録署名人に澤田剛氏，中島純二氏を任命した。
議事録署名人： 澤田剛氏（自宅会員）
中島純二氏（今宿病院）

第1号議案：平成28年度事業報告
第1号議案，平成28年度事業について志井田太一代表理事より報告があった。議決の結果，全員異議なく承認された。

第2号議案：平成28年度収支決算及び監査報告
第2号議案，平成28年度収支決算について中川昇氏より報告があった。また，吉田秀樹監事，原口健三監事より適正に運営されている旨の監査報告があった。議決の結果，全員異議なく承認された。
10. 議長団解任
11. 閉会の言葉

以上の議事進行をもって総会が終了した。

以上の決議を明確にするために，本議事録を作成し，定款27条により議長及び議事録署名人が次に記名押印する。

【保健福祉部】

1. 報告事項

1) 活動報告

(1) 29年度 第1回 高齢者支援ブロック実務者会議（筑後）

①日 時：平成29年4月7日（水）

②場 所：いきいき安武デイサービスセンター研修室

③出席者：濱本孝弘，原野裕司，永田博明，長野久雄，桑島俊明，石橋慎也，長野剛，福島篤，恒松伴典，川添由加利，田中重徳，木村伸一郎，深井伸吾

④内 容：自立支援ケア会議の活動報告，活動予定について

(2) 29年度 第2回 高齢者支援ブロック実務者会議（筑後）

①日 時：平成29年5月8日（月）

②場 所：いきいき安武デイサービスセンター研修室

③出席者：永田博明，田中孝子，長野久雄，高山和規，桑島俊明，石橋慎也，長野剛，福島篤，川添由加利，田中重徳，長彰純，深井伸吾

④内 容：自立支援ケア会議の活動報告，活動予定について

(3) 29年度 第3回 高齢者支援ブロック実務者会議（筑後）

①日 時：平成29年6月13日（火）

②場 所：いきいき安武デイサービスセンター研修室

③出席者：濱本孝弘，長野久雄，原野裕司，永田博明，桑島俊明，石橋慎也，高山和規，小山大作，田中孝子，恒松伴典，福島篤，川添由加利，田中重徳，木村伸一郎，深井伸吾

④内 容：自立支援ケア会議の活動報告，活動予定について

(4) 29年度 第1回 地域包括ケアシステム推進会議

①日 時：平成29年4月26日（水）

②場 所：福岡医健専門学校

③出席者：志井田太一，濱本孝弘，黒木勝仁，田中聡，黒田隆之，佐野功一，靱井剛士，長野久雄，永田敬生，

④内 容：地域包括ケアシステム推進，総合事業について

(5) 29年度 第2回 地域包括ケアシステム推進会議

①日 時：平成29年5月31日（水）

②場 所：福岡医健専門学校

③出席者：玉野和男，黒木勝仁，大田登志樹，平岡敏幸，轟木健市，田中聡，黒田隆之，佐野功一，靱井剛士，長野久雄，永田敬生，深井伸吾

④内 容：地域包括ケアシステム推進，総合事業について

(6) 29年度 第3回 地域包括ケアシステム推進会議

①日 時：平成29年6月15日（木）

②場 所：宗像水光会総合病院

③出席者：玉野和男，大田登志樹，平岡敏幸，轟木健市，田中聡，黒田隆之，佐野功一，靱井剛士，生駒英長，長野久雄，深井伸吾

④内 容：地域包括ケアシステム推進，総合事業について

(7) 29年度 第1回 特別支援教育対策企画会議

①日 時：平成29年5月22日（月）

②場 所：麻生リハビリテーション大学校

③出席者：濱本孝弘，曾根川達司，渡邊直美，藤川貴子，鬼塚みゆき，武藤美智恵，徳吉悠子，長野清一郎，深井伸吾

④内 容：今年度計画，目標について

(8) 29年度 第2回 特別支援教育対策企画会議

①日 時：平成29年6月19日（月）

②場 所：麻生リハビリテーション大学校

③出席者：濱本孝弘，曾根川達司，渡邊直美，藤川貴子，鬼塚みゆき，武藤美智恵，徳吉悠子，長野清一郎，橋川愛，深井伸吾

④内 容：アンケート検討，特別支援教育情報交換会について

【教育部】

1) 研修会報告

(1) MTDLP基礎研修

平成29年5月21日（日）：福岡ブロック

場 所：福岡赤十字病院

アネックス棟 椎木記念ホール 終了

参加者：11名 講師：宮本 香織

2) 研修会予定

(1) 老年期分野研修会：平成29年8月27日（日）

テーマ「認知症の基礎」

場 所：ウェル戸畑

(2) 精神分野研修会：平成29年9月16日（日）

テーマ「認知機能リハビリテーションと

作業療法」（予定）

場 所：福岡市内で調整中

(3) 発達分野研修：平成29年9月3日(日)

場 所：リファレンス博多東

テーマ：「ヒントをつかもう！～OTに大切な
遊びの視点～(案)」

(4) 身体分野研修会(現職者選択研修)：

平成29年11月5日(日)

会 場：聖マリア学園大学

(5) 地域分野研修会：10月下旬で調整中。

場 所：リファレンス博多東

(6) 現職者共通研修

第1回：10月開催で調整中(福岡開催)。

第2回：2月開催で調整中

(北九州または県学会同時開催)

(7) MTDLP基礎研修(現職者選択研修：必須)

①平成29年6月25日(日)：筑後ブロック

場 所：介護老人保健施設アルファ俊聖
4階大会議室

②平成29年7月9日(日)：福岡東ブロック

場 所：水光会病院総合リハ・

フィットネスセンター2階

③平成29年8月：筑豊ブロック

④平成29年9月：北九州ブロック

(8) MTDLP事例検討会予定

①平成29年10月：福岡ブロック

②平成29年11月：筑後ブロック

③平成29年12月：福岡東ブロック

④平成30年1月：筑豊ブロック

⑤平成30年2月：北九州ブロック

(9) MTDLP事例登録研修会

年2回実施予定

3) SIG認定施設

誠愛リハビリテーション研修会(2017.4)

【学術部】

1. 第22回福岡県作業療法学会

日時：平成30年2月17日(土)、18日(日)

会場：公立大学法人

福岡県立大学(田川市伊田4395)

テーマ：『無限大∞』～作業療法のちから～

演題募集：平成29年7月1日(土)

～8月31日(木) 13:00まで

応募方法は、学会ホームページをご覧ください。

<https://fukuokaot.com>



学会ホームページQRコード

1) 学会ホームページ上の「演題申込用紙」をダウンロードし、必要事項をご入力ください。
「演題申込用紙」と作成した抄録をメールに

添付し、件名に「第22回学会演題申込」と記載した上で、後述の応募・お問合せ先にお申込みください。なお、「抄録作成手順」「抄録見本」もホームページ上にてダウンロードできますのでご参照ください。

※応募・お問い合わせ先：

第22回福岡県作業療法学会 査読部

22gakai_endai@fukuokaot.com

(査読担当：安藤 栄二)

2) メールアドレスのお間違えがないようご注意ください。お申込みを頂いた後の演題受理、演題採択決定、発表形式等のご連絡等をさせていただきます。

3) 演題は査読者による査読を経た後に採択されます。採択後の演題の取り下げは受付兼ねますのでご了承ください。演者が発表できない場合は共同演者に代読して頂きます。

2. 『作業療法・福岡』第16号投稿論文募集

ISSN(国際標準逐次刊行物番号)1881-6010

発刊予定：平成30年3月

募集原稿：原著、短報、報告、症例報告など

募集期間：平成29年9月30日(土) 17:00まで

申込方法：執筆申込書と完成原稿をご提出ください。なお論文掲載の可否につきましては、筆頭執筆者へ通知いたします。

※執筆申込書は本協会ホームページにあります。<http://www.fukuokaot.org/> をご覧ください。

※本誌に掲載される著作物の著作権は福岡県作業療法協会に帰属します。

提出先：福岡和白リハビリテーション学院 亀田秀一までEメールで送付してください。

E-Mailアドレス s-kameda@fukuokawajiro-reha.jp

※査読が導入された学術的価値の高いジャーナルとなっています。今後の自身のステップアップの足がかりとして、自身の研究を形として残す第一歩として、自身の作業療法の成果をまとめてみる機会として、是非投稿をお願いいたします。

【筑豊ブロック】

<公1>

I. 事業企画会議

第1回 筑豊ブロック事業企画会議

日 時：平成29年4月10日月曜日

会 場：飯塚記念病院 参加者：14名

内 容：平成29年度筑豊ブロック研修会について、他

第2回 筑豊ブロック事業企画会議

日 時：平成29年4月10日月曜日

会 場：飯塚記念病院 参加者：14名

内 容：第2回，3回筑豊ブロック研修会につ
いて，他

II. 研修会報告

第1回 筑豊ブロック研修会

日 時：平成29年6月11日 日曜日

会 場：飯塚記念病院

テーマ：地域ケア会議に資する

人材育成研修会

講 師：靱井剛士氏（株式会社らそうむ），
福田寛徳氏（飯塚記念病院），
手嶋雄太氏（筑山会松岡病院），
山本めぐみ氏（訪問看護ステーションあおぞら）

参加者：33名

新人研修・歓迎会

日 時：平成29年5月20日（土）17:00～18:30

会 場：イイヅカコミュニティセンター
学習室303

テーマ：筑豊ブロックの紹介，
映画で学ぶMTDLP

講 師：平岡敏幸氏
（飯塚記念病院，筑豊担当理事）

参加者：8名（歓迎会22名うち新人6名）

<公2>

I. 広報誌 筑豊OT TIMES 第20号

平成29年4月16日発行

【今後の予定】

<公1>

I. 事業企画会議

第3回 筑豊ブロック事業企画会議

日 時：平成29年8月21日 月曜日

会 場：飯塚記念病院

<公2>

I. 広報誌 筑豊OT TIMES 第21号

平成29年7月15日発行予定

【北九州ブロック】

ブロック企画会議開催

平成29年5月15日（月） 19:00～

（公社）福岡県作業療法協会事務所

地域ケア会議助言者養成研修

日 時：平成29年5月14日（日）

10:00～16:30

会 場：北九州リハビリテーション学院

講 師：宮永敬市氏（北九州市認知症支援・
介護予防センター）
津川文信氏（上野病院）
後藤真司氏（ほうらい山荘）
都甲幹太氏（あやめの里）
その他ファシリテーター

参加者：40名

北九州ブロック新人歓迎会

日 時：平成29年5月26日（金）19:00～

会 場：キーハット（小倉駅近く）

参加者：約30名

<小倉北・門司エリア>

エリア事業企画会議開催

平成29年5月9日（火）19:00～

新小文字病院すみれ寮7階会議室

<小倉南・京築エリア>

エリア事業企画会議開催

平成29年5月11日（木）19:00～

小波瀬コミュニティセンター

<八幡西・遠賀・中間エリア>

エリア事業企画会議開催

平成29年4月4日（火）19:00～ ごえん

平成29年5月24日（水）19:00～福岡新水巻病院

第1回北九州ブロック研修会

日 時：平成29年6月16日（金） 19:00～

会 場：ウエル戸畑

テーマ：認知症の作業療法

～QOL概念と治療的・予防的介入方略

講 師：久野真矢氏（九州医療スポーツ専門
学校 作業療法学科）

参加者：75名

<広報部>

広報誌「北九州OTネットvol.24」発行

【福岡ブロック】

事業企画会議開催

平成29年 5月10日（水）

桜十字福岡病院 参加：22名

平成29年 6月14日（水）

桜十字福岡病院 参加：16名

広報部

1) 「Joy Style 春号」平成29年4月20日発行

2) Facebook：随時更新中

教育学術部

1)平成29年度 第1回 福岡ブロック研修会

テーマ：「リハスタッフのための急変対応

～安全に実施するための知識」

講 師：土倉 万代 先生（看護師）

所 属：土倉外科胃腸科医院

日 時：平成29年6月9日（金）

19:00～20:30

会 場：ふくふくプラザ 601教室

参 加：53名（作業療法士）

エリア部

1)エリア部合同研修 新人オリエンテーション

説明者：黒木 勝仁（社会福祉法人

学而会 サンシャインセンター）

日 時：平成29年5月26日（金）

19:00～20:30

会 場：福岡市民病院 2階講堂

参加者：43名（作業療法士）

【筑後ブロック】

【活動報告】

〈公1〉

事業企画会議

第2回 筑後ブロック事業企画会議

日程：平成29年6月19日（月）19:30～

場所：筑後商工会議所

出席：11名

2) 第1回 八女・筑後地区（B地区）企画会議

日程：平成29年5月11日 18:30～19:30

場所：ジョイフル福岡大川店

出席：5名

3) 第1回 有明地区（C地区）企画会議

日程：平成29年5月8日18:00～19:30

場所：ガスト白金店

出席：6名

4) 第1回 朝倉地区（D地区）企画会議

日程：平成29年5月12日（土）19:00～21:00

場所：甘木中央病院

出席：5名

5) 第1、2、3回 広報部企画会議

日時：第1回 平成29年5月10日 20:00～

第2回 平成29年5月24日 18:00～

第3回 平成29年6月10日 20:00～

場所：第1、3回 WEB会議、第2回 松岡病院

出席：4名（第1、2、3回）

〈公2〉

1. 広報活動

1) Facebook広報実施

(1) Facebook活動報告

4/24：筑後ブロック全体会議実施（報告）

平成29年5月1日 筑後ブロックメンバー紹介

平成29年5月8日 筑後ブロックメンバー紹介

平成29年5月15日 筑後ブロックメンバー紹介

平成29年6月1日 筑後ブロック分野別研修会のお知らせ

平成29年6月2日 大牟田介護フェスタのご案内

平成29年6月8日 筑後ブロックメンバー紹介

平成29年6月11日 筑後ブロックSNS開設のお知らせ

(2) その他、SNS広報活用について

Facebookと連動し、インスタグラム、Twitterを開設、運用開始

【今後の活動予定】

〈公1〉

1. 事業企画会議

1) 第3回 筑後ブロック事業企画会議

日程：平成29年8月21日（月）19:30～

場所：筑後商工会議所

2) 第2回 有明地区（C地区）企画会議

日程：平成29年7月3日

場所：ガスト白金店

3) 第2回 朝倉地区（D地区）企画会議

日程：平成29年7月3日

場所：甘木中央病院

2. 事例検討報告会

①第1回：平成29年10月19日（木）

場所：帝京大学福岡医療技術学部

②第2回：平成29年11月15日（水）

場所：久留米リハビリテーション学院

③第3回：平成30年1月18日（木）

場所：えーるびあ久留米

④第4回：平成30年2月9日（金）

場所：介護老人保健施設アルファ俊聖
（甘木中央病院敷地内）

3. 研修会

1) 第1回分野別研修会

日時：平成29年7月9日

場所：久留米リハビリテーション学院

・身体障害部門

テーマ：運動器リハビリテーションにおける評価・治療について

講師：坂本 智洋 先生

（姫野病院 作業療法士）

・地域・老年期障害部門

テーマ：地域包括ケアシステムについて

講師：小山 大作 先生

（神代病院 作業療法士）

・精神障害部門

テーマ：精神障害領域における訪問サービスの役割

講師：村尾 眞治 先生

（訪問看護ステーションReafくるめ代表取締役）

・発達障害部門

テーマ：重症心身障害児の訪問作業療法について

講師：前波 有美 先生

（福岡療育支援センターいちばん星作業療法士）

2) 久留米地区研修会

・日時：平成29年10月20日（金）19:00～21:00

・場所：えーるびあ久留米

3) 八女筑後地区研修会

・日時：2017年8月23日（水）19:00～20:30

・場所：サザンクス筑後

・テーマ：認知症の人への支援向上のために

・講師：川島豊輝先生（福岡県認知症介護指導者、株式会社パーソンサポート絆 代表取締役）

4) 筑後ブロック全体研修会

・日時：平成29年9月10日（日）10:00～12:00

・場所：エコサンク大牟田

・講師変更：西岡 心大先生（長崎リハビリテーション病院 栄養管理室室長 管理栄養士）

・テーマ：「リハ栄養」（仮）

5) MTDLP研修会

・日時：平成29年6月25日

・場所：アルファ俊聖 大会議室

病院名	医療法人社団 俊聖会 甘木中央病院
【募集職種】	作業療法士
【募集人員】	若干名
【雇用形態】	正社員
【給与】	214,000～302,400円
【賞与】	年3回 計4月分
【勤務時間】	08:30～17:00 09:00～17:30 09:30～18:00 (シフト制)
【休日】	日, 祝日の日数及び, 半休3日, 月1回土曜日 年末年始休暇, 夏期休暇等
【福利厚生】	退職金制度, 永年勤続表彰 職員保養所2棟 (阿蘇郡 温泉・テニスコート有)
【その他】	託児所有, 通勤手当30,000円まで
【備考】	急性期から療養までケアミックスで 様々な経験が積みまます
【連絡先】	〒838-0068 福岡県朝倉市甘木667 TEL 0946-22-5727 FAX 0946-24-3572 担当 事務長 林田



体に合った車いす・目的に合った車いす
をご提供します
車いす・介護用品・福祉用具レンタル

本社/福岡市中央区天神 5-4-15
営業本部/糟屋郡粕屋町仲原3丁目 9-20
TEL/092-938-2208
HP/http://www.takisyokai.co.jp



タキ商会

Occupation

医療法人社団 照和会 ぼると 荒島 俊二

精神科病院に勤務して今年で24年目に入ります。OTになってからは18年目を迎えます。福岡市南区にある西岡病院にて精神科作業療法、精神科デイケアを経て、現在はサテライトである就労継続支援B型事業所「ぼると」に勤務しています。入院から外来、地域へと様々な回復過程にある方々に携わることができ、より多くの経験をさせていただいております。また、市町村障害支援区分審査委員も務めさせていただき障害者福祉行政にも携わらせていただいております。

私が初めて就いた仕事は、医療とは180度違う「アパレル」の世界でした。

心理カウンセラーの学校を卒業したのですが、自分には向いていないと思い、元々興味があったアパレル業界で働いていました。しかし卒業した学校の教授は、私だけが違う業界で働いていたことをずっと心配してくださっていたようで、私には内緒で両親に就職先の病院を紹介してくれていたのです。もちろん、両親からすると元々反対していたアパレルよりも病院で勤務してもらいたいという思いが強かったため、すぐに面接をすすめられ、そこで初めて『作業療法』というのを知りました。無事に就職が決まりましたが、アパレルとは全く違う環境に戸惑いながらも作業療法助手として働いているうちに、作業療法士の先生（師匠）から「作業療法士に向いてるわよ。せっかくだから、資格を取って働いてみたら？」という言葉をかけてもらいました。当時働いていた病院長をはじめ、副院長や他の職員の方々の応援もあり、学校に行く決意をしました。その当時は福岡県内にリハビリテーションの学校は3校しかなく、夜間部を併設しているのは柳川リハビリテーション学院しかありませんでした。しかし通学するのは大変なため、病院長のお心遣いにて、少しでも学校に近い病院を紹介して頂き、昼間は病院で作業療法助手として、夜は学校へ通う、家に帰り着くのは23時過ぎといった生活を約4年間続けました。途中何度もくじけそうになりながらも、患者さんから活動中に「早う行かんと学校に遅れるばい！」と気遣う言葉や病棟の廊下ですれ違う時に「卒業しても、辞めんでここで働らきんしゃいね」など声を掛けて頂き、その言葉に助けられていました。また、学校が終わってバスで柳川駅まで行くと、最終の特急には間に合わないため、同級生が毎日駅まで車で送ってくれました。おかげで卒業するまで一度も特急に乗り遅れることはありませんでした。私はこのように色々な人に支えてもらいながら無事に卒業することができました。本当に感謝しています。就職してから今に至るまでの経緯を書いていると、終わりが無いので中略させていただきます。

私が一番大切にしていることは『出会い』です。教授や師匠、病院長や職員の皆さん、患者さん、同級生など様々な方と『良い出会い』ができたからこそ、作業療法士になれた今の自分があります。これまで生きてきた中で、誰と出会うかで人生は大きく変わっていくと実感しました。だからこそ、患者さんには『私と出会えてよかった』『この人が担当でよかった』と思ってもらえることを心掛けています。

人が生活すること、何気なく過ごしている日常は、当たり前のことですが、一番難しい作業だと思います。病気を患って障害を負った方々が、以前のような生活を取り戻そうと、その一歩を踏み出す時に会うのが作業療法士だと思っています。

患者さんの生活背景、ライフスタイル、今後の人生を一緒に考え、アプローチしていきたい。ですが、患者さんにとっては一番苦しくつらい時です。だからこそ、『あなたに会えてよかった』と感じてもらえるような人でありたい。そして作業療法士でありたい。それが私が思う人との『出会い』です。



「作業風景」お弁当作り



事業所は閑静な住宅街の中にあります

みなさま、はじめまして。西野病院の中野翔子と申します。このリレーを回してくれた中野裕也さんとは従兄妹です。私より4歳年上のお兄さんであり、OTとしても先輩です。小さい頃は一緒に映画を見に行ったり、ゲームセンターで遊んだりしていました。そんな従兄も今では3児の父です。昔に比べると会う機会も減っていますが、いつか、いとこみんなで子どもの頃の話に着に、お酒でも飲めたらな～なんて、このリレーエッセイの話を頂いて思い返している今日この頃です。

そんな私はOT5年目となりました。現在、私の勤務している病院は、一般病棟、療養型病棟、回復期病棟で構成されており、OTは19名在籍しています。北九州市八幡東区に位置し、市内でも特に高齢の方が多く住まれている地域です。八幡東区はとにかく坂が多く、家屋調査の時は心身共に泣かされています。

当院の特徴はなんといっても中庭！です。四季折々に咲いている花や野菜、セラピードッグのナナちゃん、オープンカフェ、ログハウス、森や小川があります。病院なのですが、どこか自然の中に来たような、そんな病院です。私は、患者様との関わりの中で、中庭をよく利用します。屋内とは違い、暖かい日差しや新鮮な空気の中で行う作業療法は、身体だけでなく心も癒されます。目を閉じて耳を澄ませば小鳥のさえずりや森の木が揺れる音が聴こえます。自然を目で見て、花に手で触れ香りを楽しむ。患者様も自然と表情がほころび、会話が弾みます。会話の中から、その方の人となりや真の気持ちを見つけることができます。

以前、勉強会に行ったときに「高齢者が1人亡くなるということは、町から図書館が1つなくなるのと同じことだ」と聞いたことがあります。患者様から学ぶことは多いです。1人1人の話に耳を傾け、心に寄り添える作業療法をこれからも提供していけるよう頑張ります。



会員動向調査

調査期間 (2017. 3. 8~2017. 6. 2)

福岡県作業療法協会 会員数2,895名(正会員2,583名 自宅会員312名)

<入会>

崎長 誠	白十字病院	: 2017年5月	坪浦 ななえ	浅木病院	: 2017年5月
重本 奏	白十字病院	: 2017年5月	伊藤 奈緒	かん養生クリニック	: 2017年5月
松本 宗一	白十字病院	: 2017年5月	新屋 徳明	製鉄記念八幡病院	: 2017年5月
川内 麻莉子	誠愛リハビリテーション病院	: 2017年5月	松崎 雄大	若戸病院	: 2017年5月
			金丸 奈津美	新行橋病院	: 2017年5月
中村 竜一	誠愛リハビリテーション病院	: 2017年1月	滝川 麻弥	新行橋病院	: 2017年5月
			大西 宏典	大手町診療所	: 2017年5月
和田 宗一郎	誠愛リハビリテーション病院	: 2017年3月	自見 美菜	東病院	: 2017年4月
			植村 正敏	総合せき損センター	: 2017年4月
田中 崇暉	中村病院	: 2017年2月	川本 佳典	松岡病院	: 2017年4月
長浜 沙也夏	筥松病院	: 2017年2月	茶圓 亜矢子	健康リハビリテーション内田病院	: 2017年5月
深田 紗織	千鳥橋病院	: 2017年2月			
林 亜湖	樋口病院	: 2017年4月	室井 信人	神代病院	: 2017年2月
森 友幸	樋口病院	: 2017年5月	亀井 杏樹	神代病院	: 2017年2月
上林山 さゆり	まえばる老健センター	: 2017年3月	村田 亜紀代	八女リハビリ病院	: 2017年4月
			澤田 知美	大牟田病院	: 2017年5月
永田 夏希	福岡豊栄会病院	: 2017年3月	吉村 葵	久留米リハビリテーション病院	: 2017年5月
伊藤 雅史	福岡記念病院	: 2017年3月			
中川 侑奈	福岡みらい病院	: 2017年4月	千代田 佳奈	久留米リハビリテーション病院	: 2017年5月
百武 孝	介護老人保健施設 からぎステーション	: 2017年4月			
山田 静香	井上病院	: 2017年5月	武藤 梨紗	高良台リハビリテーション病院	: 2017年5月
西道 大貴	香椎丘リハビリテーション病院	: 2017年5月			
有竹 里美	香椎丘リハビリテーション病院	: 2017年5月	蒲地 ひとみ	たなか病院	: 2017年5月
			堀江 絵梨子	船小屋病院	: 2017年5月
川原 潤基	福岡リハビリテーション専門学校	: 2017年4月	小窪 雄介	大牟田市立病院	: 2017年5月
			川上 己織	嶋田病院	: 2017年4月
秋永 崇芳	福岡リハビリテーション専門学校	: 2017年5月	原野 めぐみ	朝倉健生病院	: 2017年4月
			牧野 優徳	福岡県済生会大牟田病院	: 2017年4月
村田 智彦	ごう脳神経外科クリニック	: 2017年5月			
			<県内移動>		
阿部 みゆき	宗像水光会総合病院	: 2017年5月	堤 皓平	小波瀬病院	: 2017年3月
山下 竜也	正信会 水戸病院	: 2017年4月			(御所病院より)
竹森 幸美	三野原病院	: 2017年4月	中津留 正剛	産業医科大学若松病院	: 2017年4月
柳詰 陽子	新門司病院	: 2017年4月			(産業医科大学病院より)
田渕 麻紀	新門司病院	: 2017年4月	岩本 真理子	北九州市立医療センター	: 2017年4月
村山 真理	小倉リハビリテーション学院	: 2017年4月			(西野病院より)
			小川 修	九州栄養福祉大学	: 2017年4月
福井 京	福井麻酔科内科	: 2017年4月			(福岡和白リハビリテーション学院より)
藤嶋 厚志	北九州市立門司病院	: 2017年5月	手島 智康	九州医療スポーツ専門学校	: 2017年4月
宮崎 愛子	北九州市立門司病院	: 2017年5月			(良創夢リハビリの森デイサービスセンターより)
前田 佳奈子	北九州市立門司病院	: 2017年5月	中山 仁	九州医療スポーツ専門学校	: 2017年4月
上田 剛	福岡新水巻病院	: 2017年3月			(福岡リハビリテーション専門学校より)
柴原 章	福岡新水巻病院	: 2017年3月	壇 拓真	九州医療スポーツ専門学校	: 2017年4月
迫田 明日香	福岡新水巻病院	: 2017年4月			(大手町病院より)
村田 直也	福岡新水巻病院	: 2017年4月	榎本 孝史	株式会社モナトリエ・デ・フォレ	: 2017年4月
古城 春佳	福岡新水巻病院	: 2017年5月			
菊池 和也	新生会病院	: 2017年4月			
河手 武	新小文字病院	: 2017年4月			
土手 智咲	正和なみき病院	: 2017年5月			

江口 勇也	(北九州リハビリテーション学院より) 介護老人保健施設 高倉苑 : 2017年4月	田崎 龍仁	訪問看護ステーションぴんす月隈 : 2016年7月 (博愛会病院より)
宮永 敬市	(小倉リハビリテーション病院より) 北九州市保健福祉局認知症支援・ 介護予防センター : 2017年4月	森本 周作	高森整形外科・内科・歯科 : 2017年1月 (朝倉医師会病院より)
高山 富浩	(北九州市保健福祉局総合保健福 祉センター地域リハビリテーション推進課より) 北九州市保健福祉局総合保健福祉 センター地域リハビリテーション 推進課 : 2017年4月	井本 将貴	デイサービス こすも : 2017年3月 (堀川病院より)
福田 久徳	(北九州市保健福祉局障害福祉企画課より) 株式会社 きゅうすけ : 2017年2月	家地 充奈子	福岡和白病院 : 2017年4月 (香椎丘リハビリテーション病院より)
松永 裕也	(小倉リハビリテーション病院より) 株式会社 サンヴィラ ヴィラノーヴァ大谷 : 2017年4月 (製鉄記念八幡病院より)	荒巻 祐麻	介護老人保健施設 春風 : 2017年4月 (介護老人保健施設 あやめの里より)
安永 梨沙	リハビリデイサービスGrin Riha : 2017年4月 (福祉松快園より)	堤 朝美	樋口病院 デイケア なでしこ : 2017年10月 (八木病院より)
山下 知子	北九州小倉病院 : 2017年2月 (北九州湯川病院より)	赤木 裕太郎	博愛会病院 : 2017年3月 (北九州市立門司病院より)
福田 将信	新行橋病院 : 2017年3月 (デイサービスセンター リハビリモールより)	田中 大地	福岡みらい病院 : 2015年1月 (西野病院より)
中尾 麻衣	グランヴィラ大平 : 2015年4月 (大平メディカルケア病院より)	久野 良浩	福岡脳神経外科病院 : 2017年4月 (ごう脳神経外科クリニックより)
本間 真琴	つくし訪問看護ステーション : 2017年3月 (小波瀬病院より)	福山 貴文	春日病院 : 2017年1月 (堤病院より)
熊谷 沙也嘉	生活介護事業所 すずらん : 2016年7月 (西野病院より)	長池 彩香	福岡市立あゆみ学園 : 2017年4月 (久山療育園より)
合屋 奈美	福岡療育支援センター 「いちばん星」 : 2017年2月 (聖ヨゼフ園より)	園田 みのり	福岡市立あゆみ学園 : 2017年4月 (福岡市立東部療育センターより)
木下 博光	ライト リハセンター : 2017年4月 (ライトケアセンターひかりの里より)	阿南 啓太	糸島市社会福祉協議会 : 2017年4月 (村上華林堂病院より)
安永 知代	アップルハート訪問看護ステー ション糟屋 : 2017年4月 (アップルハート訪問看護ステーション福岡より)	山口 文子	新室見診療所 : 2017年4月 (たたらリハビリテーション病院より)
石松 あゆみ	北九州津屋崎病院 : 2017年4月 (宗像水光会総合病院より)	島尾 千代美	福岡市医師会 訪問看護ステー ション中部 : 2014年4月 (ごうの脳神経外科クリニックより)
権藤 理絵	介護老人福祉施設 高取 : 2016年12月 (介護老人保健施設 ケアプラザ伊都より)	吉田 大謙	千鳥橋病院 リハセンター : 2017年5月 (千鳥橋病院附属城浜診療所より)
原田 靖子	自宅 : 2017年2月 (福岡国際医療福祉学院より)	大平 紀子	福岡市西区第1障がい者基幹相談 支援センター : 2017年4月 (福岡市早良区精神障がい者相談支援センターより)
田上 愛子	介護老人保健施設 ひのき : 2016年4月 (宮田病院より)	山田 利恵	原土井病院 : 2017年4月 (香椎丘リハビリテーション病院より)
		倉光 理美	福岡市立心身障がい福祉センター : 2017年4月 (福岡市立西部療育センターより)
		蓑川 マミ	雁の巣病院 : 2017年1月 (村上華林堂病院より)
		米元 亜美	訪問看護ステーション 悠 : 2017年1月 (健康リハビリテーション内田病院より)

堀田 愛佳	訪問看護ステーション 悠	: 2017年2月	宇野 友恵	: 2017年2月
	(福岡和白病院より)		北岡 恭子	: 2017年2月
大里 菜菜子	自宅	: 2017年2月	大坪 麻理	: 2017年2月
	(健康リハビリテーション内田病院より)		佐藤 裕司	: 2017年2月
品川 伶子	自宅	: 2017年3月	生津 哲也	: 2017年2月
	(健康リハビリテーション内田病院より)		中島 千鶴子	: 2017年2月
高島 杏奈	飯塚市立病院	: 2017年4月	野見山 冴子	: 2017年2月
	(原病院より)		外尾 幸一朗	: 2017年2月
松本 亜樹	金丸医院 デイケア	: 2017年4月	田渕 悠	: 2017年2月
	(緑風会 水戸病院より)		定村 直子	: 2017年2月
石原 浩二	大牟田保養院	: 2017年4月	柴山 未奈美	: 2017年2月
	(介護老人保健施設 ハーモニー聖和より)		和田 亜耶子	: 2017年2月
太島 孝也	川崎病院	: 2017年4月	前田 望	: 2017年2月
	(聖マリア病院より)		川島 崇大	: 2017年3月
熊本 晶子	聖和記念病院	: 2017年4月	北村 啓宣	: 2017年3月
	(みなかぜ病院より)		木村 侯	: 2017年3月
樋口 美希子	甘木中央病院	: 2016年10月	久保 佑美香	: 2017年3月
	(介護老人保健施設 アルファ俊聖より)		古賀 友美	: 2017年3月
福田 裕樹	新やなぎ健診クリニック	: 2017年4月	小林 匠	: 2017年3月
	(八女リハビリ病院より)		佐藤 奈律実	: 2017年3月
長野 久雄	くるめ地域支援センター本部	: 2017年4月	重富 陽祐	: 2017年3月
	(むつみ小規模多機能型居宅介護施設より)		治部田 翔平	: 2017年3月
甲斐田 亮	丸山病院	: 2017年4月	住吉 秀人	: 2017年3月
	(小倉リハビリテーション病院より)		宗 賢太郎	: 2017年3月
淵上 梓	介護老人保健施設明星苑コスモス	: 2017年4月	高村 郁子	: 2017年3月
	(新古賀病院より)		竹本 みひろ	: 2017年3月
金子 ルミ	柳川リハビリテーション病院	: 2017年4月	田代 佳克	: 2017年3月
	(介護老人保健施設 水郷苑より)		田渕 友久	: 2017年3月
森脇 悦子	介護老人保健施設 水郷苑	: 2017年5月	豊島 宇茂	: 2017年3月
	(やながわ訪問看護ステーションより)		鳥巢 喜美子	: 2017年3月
江口 智則	特別養護老人ホーム 若久園	: 2017年4月	中川 万里子	: 2017年3月
	(高良台リハビリテーション病院より)		那住 理緒	: 2017年3月
坂田 裕紀	訪問看護ステーション みやま	: 2017年4月	長谷川 恭子	: 2017年3月
	(甘木中央病院より)		原口 晴美	: 2017年3月
田中 ゆう子	杉循環器科内科病院	: 2016年9月	原田 雅代	: 2017年3月
	(大牟田天領病院 デイケアセンターより)		平田 佳子	: 2017年3月
富永 紘史	高木病院	: 2017年5月	二村 沙織	: 2017年3月
	(有明クリニック おおかわ交流		古谷 真吾	: 2017年3月
プラザ 通所リハビリテーションセンターより)			松尾 貴世	: 2017年3月
<退会者>			松藤 琴美	: 2017年3月
小川 剛義	: 2017年1月		山村 美香	: 2017年3月
石松 緑	: 2017年1月		横山 かおり	: 2017年3月
片山 祥子	: 2017年2月		甲斐 聡美	: 2017年3月
			片山 華緒里	: 2017年3月
			遠藤 千冬	: 2017年3月
			浦野 蘭和	: 2017年3月
			久家 恵介	: 2017年3月
			武田 奈未	: 2017年3月
			安田 佳美	: 2017年3月
			宮田 梓	: 2017年3月
			永尾 歩美	: 2017年3月
			長瀬 彰吾	: 2017年3月
			平野 香菜	: 2017年3月

前田 祐子 : 2017年3月
待鳥 佑佳 : 2017年3月
岩田 善博 : 2017年3月
石隈 浩一郎 : 2017年3月
川口 早織 : 2017年3月
宮岡 秀子 : 2017年3月
金子 美咲都 : 2017年3月
田爪 琢大 : 2017年3月
佐藤 千穂 : 2017年3月
萩原 敦 : 2017年4月
小田 大輝 : 2017年4月
山本 佳江 : 2017年4月
山下 晴海 : 2017年4月
豊福 真衣 : 2017年4月

＊会員の皆様へ＊

これまで、会員の皆様の異動状況を会報にて報告してまいりましたが、「事務所へ報告はするが、会報への掲載は望まない」という要望もございます。

異動等の報告の際、会報への掲載を希望されない場合は所定の用紙（異動届等）にその旨ご記入ください。

異動の際の手続きについて

職場・自宅等の変更のあった方は、必ず文書で県協会事務局へご連絡下さい。

協会ホームページ(<http://www.fuku-ot.org/>)へアクセスし、入会・異動・退会の項から届出用紙をダウンロードして下さい。

用紙に異動前・後の施設名、郵便番号、住所、電話番号を明記して下さい。自宅住所の変更もお忘れなくお願いします。

ご不明な点は、福岡県作業療法協会事務所までお問い合わせ下さい。

TEL 093-952-7587

編集後記

今月号の特集は「心理教育の紹介」です。飯塚記念病院の西園晋明先生に御執筆いただきました。精神科で実際に行われている心理教育をご紹介いただき、他職種との連携や家族との関わり的重要性についてまとめていただきました。本文の中にもあるように「心理教育」は精神科特有のものではありません。病気や障がいの概要や症状などの知識、治療方法、再発予防に関する情報を伝え、対象者の主体的な行動を促すための「心理教育」はどの分野においても必要なことであると思います。

九州北部を襲った記録的な豪雨は福岡、大分に大きな被害をもたらしました。亡くなられた方にはご冥福をお祈りいたします。福岡県作業療法協会では昨年の熊本地震の経験を機に、福岡県と福岡県理学療法士協会など8団体との間で「災害時における福祉避難所等への福祉等専門人材の派遣に係る協定」を締結し、災害支援ボランティア協力についてのシステム作りを進めてきました。災害支援ボランティアについては県協会サイトに情報を随時掲載していきますのでご確認ください。

(許山)